

日野市平和事業関連資料貸出事業 〔貸出資料一覧〕

- 1 広島・長崎の原爆被害に関するパネル 30枚
(A1版 縦910mm×横605mm)

No.	パネルタイトル	No.	パネルタイトル
1	立ち昇るきのご雲	16	人体が受けた影響（急性障害①）
2	消えた街並み①	17	人体が受けた影響（急性障害②）
3	消えた街並み②	18	後障害
4	消えた街並み③	19	サダコ（ある少女の死）
5	消えた街並み④	20	きのご雲の下には…
6	原爆被害	21	廃墟からの復活（立ち上がる市民）
7	原子爆弾	22	街の再生
8	原爆投下以前	23	海外からの支援
9	被爆直後①	24	復興
10	被爆直後②	25	現在の広島市・長崎市
11	被爆直後③	26	核兵器はいま
12	市民が描いた被爆直後のようす	27	核兵器のない平和な世界へ
13	熱線	28	20世紀・負の遺産
14	爆風	29	遺品は語る
15	高熱火災	30	惨禍を伝える歴史の証人

※次ページにパネルの写真あり（一部のみ）

(参考)

No.1

立ち昇るきのご雲

広島：1945年8月8日 午前10時15分
長崎：1945年8月9日 午前11時25分



▲原爆投下後1時間後のきのこ雲 (広島)
原爆投下後約1時間、きのこ雲は約1000mの高さに達し、約1000mの高さから降りました。(1945年8月8日 撮影：米軍)



▲原爆投下後1時間後のきのこ雲 (長崎)
原爆投下後約1時間、きのこ雲は約1000mの高さに達し、約1000mの高さから降りました。(1945年8月9日 撮影：米軍)

HIROSHIMA & NAGASAKI

No.6

原爆被害

原爆は、核分裂により放出される巨大なエネルギーにより、大量破壊と大量死を、瞬間的かつ一斉に引き起こす兵器です。そのエネルギーは、熱線、爆風、放射線となり、それらが相乗作用し大きな破壊力を生み出し、広範囲・長時間の市街地は壊滅的な被害を被りました。また、放射線による後障害によって、被害者は継続的に健康が損なわれたり、いつ発病するかもしれないという不安を抱

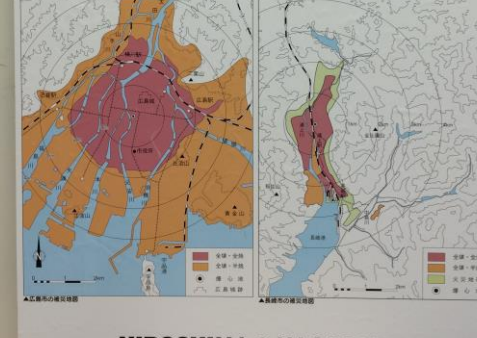
きながら生活せざるをえないハンディキャップを課せられました。原爆の被害は、大量の人的・物的被害、地域社会の破壊、心理的・精神的打撃など、人間と社会のあらゆる側面にわたる被害が、相互に関連して生じていることが、大きな特徴です。

原爆被害の概要

項目	広島	長崎
爆発日時	1945年8月6日 午前8時15分 (3800人の犠牲者)	1945年8月9日 午前11時25分 (8000人の犠牲者)
被害の範囲	約1000m	約1000m
被害の割合	32%	36%
全壊・全焼	63%	22%
半壊・半焼	28%	28%
半壊・半焼・大壊	26%	11%

発生したエネルギーの内訳

種類	割合
熱線	50%
放射線	17%
爆風	32%
放射能残留	1%



HIROSHIMA & NAGASAKI

No.14

爆 風

爆発とともに数十万気圧という超高压が生じ、まわりの空気が大きく膨張して強力な爆風が発生しました。爆風の先頭は音速を超える衝撃波となり、その後に非常に強い爆風が吹き抜けました。爆心地では最大瞬間風速は1秒当たり35m、最大風速は秒速440mにもなりました。この衝撃波と爆風に、爆心地から2.3km以内の木造の建物は倒壊し、爆心地付近では鉄筋コンクリート造りの建物さえも押しつぶされました。



▲爆心地から北方を望む (広島)
爆心地付近で倒壊した建物の瓦礫が、道路両側の高層ビルを覆っています。(1945年11月 撮影：米軍)



▲爆風の下にビル (長崎)
爆風の下にビルが倒壊し、瓦礫が積み重なっています。(1945年11月 撮影：米軍)



▲爆風の直上を通過した瞬間 (広島)
爆風の直上を通過した瞬間に撮影された写真です。(1945年11月 撮影：米軍)



▲爆風の直上を通過した瞬間 (長崎)
爆風の直上を通過した瞬間に撮影された写真です。(1945年11月 撮影：米軍)



▲爆風で吹き上った瓦礫雲 (広島)
爆風で吹き上った瓦礫雲が、爆心地から遠くまで広がりました。瓦礫雲の中心部には、爆風が吹き抜けた跡が見えます。(1945年11月 撮影：米軍)



▲爆風で吹き上った瓦礫雲 (長崎)
爆風で吹き上った瓦礫雲が、爆心地から遠くまで広がりました。瓦礫雲の中心部には、爆風が吹き抜けた跡が見えます。(1945年11月 撮影：米軍)

HIROSHIMA & NAGASAKI

No.27

核兵器のない平和な世界へ

広がる非核地帯

非核地帯とは、ある区域のなかで、核兵器の開発・実験・貯蔵・保有を禁止し、また、核兵器の使用を禁止する条約を締結する地域のことです。非核地帯は、数十年前に実行を待たうものではありませんが、その締結と拡がりは核拡散防止体制を強化し、核の廃絶につながり、平和な世界につながります。



市民の取り組み

核兵器のない平和な世界を実現するには、一人ひとりの市民が平和を願い、核兵器のない社会を実現しようとする強い意志を持ち、世界中の人々の協力を得る必要があります。市民の取り組みは、国際連帯を高め、さらには核兵器のない平和な世界を実現するために重要な役割を果たしています。その力が国家や国際社会を動かすことにより、核兵器のない平和な世界が実現されます。




核兵器のない平和な世界の実現

核兵器のない平和な世界の実現には、市民の取り組みが重要です。市民の取り組みは、国際連帯を高め、さらには核兵器のない平和な世界を実現するために重要な役割を果たしています。その力が国家や国際社会を動かすことにより、核兵器のない平和な世界が実現されます。

HIROSHIMA & NAGASAKI